

# 平成25年度 上田市立本原小学校 グランドデザイン

学校教育目標 「なかよく たくましく かんがえて」

## 目指す子どもの姿

① 温かい心と思いやりの心を持つ、素直な子

② 継続してやり抜く、意志の強い子

③ 状況に応じ、自ら判断できる子

## 本年度の重点教育目標

「共に学び、共に育つ教育をめざして」

- 1 職能組織として、PDCAサイクルを機能させた教育活動の充実
- 2 学校・家庭・地域社会が一体となって取り組む創造的な『本原教育』の推進
- 3 教育効果をより促進する地域並びに保護者との信頼関係の構築

## 重点目標具現のための視点

### 1 教育活動の充実

- 教師としての自己課題を明確にした全職員による授業公開研究の実践
- 授業、校務係におけるPDCAサイクルを機能させた指導観、評価観の定着
- 子どもの教育的ニーズに対応できる「個別の指導計画」による支援の充実
- 「学校評価」及び各種の検査・調査の効果的活用

### 2 本原教育の推進

- “学びの場”を地域、校外に開くことによる地域の自然、人々、文化等の積極的な活用の促進
- 幼保小中が一貫して子どもを支え、互いの取り組みのよさに学び合う交流研修、交流授業の促進
- 「原っ子見守り隊」をはじめ、地域の人々に支えられていることなど、諸々に感謝し自校への誇りが持てる「愛郷心」「愛校心」の育成
- 教育ボランティアの積極的導入

### 3 信頼関係の構築

- 教育活動の地域への公開の推進と情報の発信
- 教室、実践を内にも外にも開き、互いに支え合い、学び高め合おうとする職員集団の意識づくり
- 保護者が子育ての悩みや不安、要望等を気軽に相談できる信頼関係づくりの工夫
- 取り組みの方策を明確にした「学校評価」の在り方及び結果の活用における相互の信頼関係づくり

## 主な教育活動

### 1 一人一人の子どもが位置付く楽しい授業・学級・学校づくり

- ① いじめや不登校を出さない集団づくり、どの子どもにも活動が成立する学級活動
- ② 相手の立場や気持ちを思いやる心、お互いのよさを認め合い、支え合う心の育成
- ③ 人間づくりの基本として「相手を見てのあいさつ」「さん・君」の呼び方等の習慣化

### 2 子ども自身が「分かった」「できた」と実感できる授業づくり

- ① 新学習指導要領の完全実施3年目としての検証
- ② 「授業がもっとよくなる3観点」の実践、取り組みをとおしての学力の定着・向上
- ③ 学力の定着、向上を目指した多様な学習形態の導入と『見届け』の日常化
- ④ 児童の実態にそった学習の評価と指導の一体化

### 3 様々な教育活動・体験をとおしての豊かな心の育成

- ① 全校での「花のある学校」「歌声の響く学校」づくり
- ② 子どもが「本原のよさ・すばらしさ」を実感するための地域に根ざし発信する「本原の活動」への積極的な取り組み
- ③ 姉妹学級でのふれあい、異学年との物作り活動、地域の方との授業交流、幼保小中学校との交流の機会を多く持ち、思いやりや尊敬、感謝の心を育成

### 4 危険を未然に察知し、安全に行動できる力の育成

- ① 「自分の命は自分で守る」ことのできる力を付けるための学級指導の充実
- ② 生活の中でルールやマナーを自ら使うことができるような力の育成

<全校研究テーマ> 他と主体的に関わり、自らの学びをつくり出す子どもの育成